

## 第 5 回総合球技場基本計画検討委員会 議事録

日 時	平成 30 年 10 月 19 日（金）10：00～11：45
場 所	山梨県庁 防災新館 201 会議室
出席者	（委 員）清水委員長、飯沼委員、佐藤委員、土屋委員、長倉委員、 布施委員、三ツ谷委員 （山梨県）総合政策部長、総合政策部理事、総合政策部次長、 リニア環境未来都市推進室長、エネルギー政策課長、都市計画課長

### 1 開会

#### 事務局

本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。これより第 5 回総合球技場基本計画検討委員会を開催いたします。本日は竹内委員が所用のためご欠席です。また、当初ご出席予定でした佐久間委員、傍土委員、松野委員につきましては急用のため急遽ご欠席されております。

### 2 総合政策部長あいさつ

#### 事務局

委員会の開催にあたり山梨県総合政策部長よりご挨拶申し上げます。

#### 総合政策部長

委員の皆様方にはお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

これまで現地の調査を含めて様々な議論を重ねてきた。前回の委員会では県民アンケートの集計結果を踏まえた検討をしていただいたのに加え、芝生管理の先生にもご講演いただいた。

本日は球技場のモデルプランや配置計画についてご検討いただきたい。合わせて小瀬スポーツ公園全体の活用策についてもご意見をいただければと考えている。それぞれご専門の立場から貴重なご意見をいただきますようお願いを申し上げます。冒頭の挨拶にさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 委員長あいさつ

#### 事務局

つづきまして清水委員長よりご挨拶をお願いいたします。

#### 委員長

暑かった夏も終わって甲府も少し冷え込んでまいりました。お忙しい中お集まりいただ

きありがとうございます。附帯機能の議論を受けて、本日はモデルプラン・配置計画、小瀬スポーツ公園全体の活性化という非常に重要な論点をご議論いただきたい。それぞれ専門的な立場から忌憚のない意見をいただきたい。

#### 4 議事

##### (1) 総合球技場の附帯機能について

事務局

ありがとうございました。議事の進行については委員会設置要綱第4条第1項の規定により清水委員長にお願いする。

(資料1について事務局より説明)

委員長

どうもありがとうございました。前回はアンケートに基づく調査結果や国内外の事例を踏まえ附帯施設について議論したが、それを事務局に非常に分かりやすくまとめていただいた。今までは附帯施設と言っていたが、これからは附帯機能に統一させていただく。ただいまの説明について委員からご意見等ありましたらよろしくお願いします。

委員

色々な施設活用についての提案であり、県民の方を視野に入れつつ考えられていることは大変良いと思う。また、それぞれの施設の役割、どう呼ぶのかという文言についても大事だと思っている。便益施設や施設活用については、何時まで利用できるのかというのはイベントをする運営サイドの視点からは大事である。バレーボールを取材していた経験から、例えば体育館は試合が終わってから1時間で仮設スタンドの取り外しも含め終えなくてはならないこともあった。当然ながら県や運営サイドの方も最後まで立ち会わなくてはならないので当然経費はかかるが、何時まで使用できるのかという観点は重要。

委員長

終了時間についてですが、如何でしょうか。

事務局

貴重なご意見をありがとうございます。現在、小瀬スポーツ公園は、朝は8時半～9時頃から、夜は21～22時頃まで貸し出しをしていると聞いている。収益面、あるいは幅広く利用してもらうという観点から、もっと早朝から利用できないか、夜も延長すれば利用される方がいるのか、週末はある程度遅くまで利用できないか等、柔軟な対応策については運営管理の方で検討したい。

#### 委員長

管理上の問題やセキュリティーの問題、また小瀬スポーツ公園との関係等もあるので総合的に検討していただきたい。

#### 委員

今までの議論をわかりやすくまとめていただき感謝申し上げます。芝生練習場、フットサルコートをつくってほしいという意見は当然あるが、総合球技場はラグビー、アメフト、サッカーが中心だとしても、できるだけ多くの種目で活用できるように考えたい。例えばテニスの場合、小瀬スポーツ公園にはすでにオムニコートが16面あるが、屋根がかかっていない。芝生練習場、フットサルコートを活用し、室内に1~2面だけでも使えるものがあれば、小瀬スポーツ公園で大会をする場合も違った形の展開ができる。子ども向けのクリニック等もやりやすくなる。小瀬スポーツ公園ではテニス大会が毎週のように開催されているが、ウォームアップを子どもたちが歩道で行っている。本当に危険で通行人にもぶつかっている。球技場の中でフットサルと兼用できるかわからないが、例えば、テニスやバドミントン等、色々なスポーツで活用できるよう検討していただきたい。

#### 委員長

その他のスポーツでの活用について考えてもらいたいという意見である。

#### 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。テニスまで考えが及ばなかったが、いずれにしても練習場を幅広く活用していただくことは必要と思っている。固定観念にとらわれずに様々な種目で活用できるよう検討したい。

#### 委員

付け加えて、野球の室内練習場や他の施設のサブグラウンド、サブ練習場のような使い方もできれば面白いと感じた。

#### 委員長

400㎡という広さとの兼ね合いもある。

#### 委員

地域住民へのアンケートや利用者の意見を取り入れる形は素晴らしい。それを踏まえた様々な案がでていますが、色々やろうとしすぎると、民間の運営者が参入しようとした時に、実はサービスとして不十分になることも想定される。やりたいことを一旦広げるのは

いいが、何を主で使っていくのかというコンセプトを運営者と計画段階で十分話し合っ、このサービスのためにはこの機能がなくてはいけないといったところを十分詰めた上で、何ができて何ができないかを検討していく必要がある。併せて、コストを下げる、観客を増やす、収益を増やすという観点から、最新の IT 技術等のテクノロジーを活用して、例えばキャッシュレスシステムの導入やデジタルサイネージによる広告収入の獲得などを検討することも大事である。このような手段が全てのスタジアムに当てはまるとは思っていないが、この地域として最低限必要なサービスや機能を絞り込んでいき、民間運営者のノウハウや最新テクノロジーを活用してその効果を最大限引き出ししていくことが重要だと思っている。

#### 委員

施設活用のところでは、例えばスタジアムのガイドツアーを行う場合、どこで受付をして、どのように更衣室や記者室や VIP 席、ラウンジ付きの部屋を案内し、どこで最後解散するのか、という動線をイメージする必要がある。J リーグの試合は年間 20 試合程度で、恐らくスタジアムができた後はチケットが取りにくい状況になるだろう。話題の新しいスタジアムに行ってみたいと関心を寄せる方々を対象としたガイドツアー、親切な施設案内、ピッチをバックに写真撮影、ツアーの見学修了証、そういう有料のツアーは重要で、収益にもつながる。

スタジアムの中で一番大きなスペースがあるのが記者会見室。階段教室のスタイルにしているところもあれば、大きな会議ができるようになっていところもある。記者会見室を設計する時にはこの部屋の活用もイメージもしながら議論するといいいのではないか。

#### 委員

アリーナについては、障がい者スポーツを行う場所が中々ない中で、利用可能なしつらえや障害者スポーツの優先的な利用の検討について言及いただきありがたい。他の既存施設との関係で、付帯機能や本体施設をより有効に活用できるような全体としての役割分担や補完を基本において考えていければよい。付帯と言えるか分からないが、例えば障がい者スポーツの中で目の不自由な方が音でするサウンドテニスがあるが、あの用具はすごく重たい。実際にアリーナに持って行く際には、階段を使うと 8 人がかりで運ぶ場合がある。そういう点を考えると、諸室に入るかもしれないが、他の競技を含めて、準備や用具の格納を高齢者や障がい者でも簡単にできるようなしつらえとなるよう考慮していただけるとありがたい。

#### 委員

今、山梨県の障がい者スポーツの実施率は全国的にかなり低く環境整備が遅れている。特に競技者レベルでの、パラリンピックに出場できるような競技者がとても少ない。県内

でそのような競技を目指す人は東京などの環境の整ったところに出て行かざるを得ない状況。サポート体制もない。山梨で競技力の高い障がい者用の施設を整備するのは難しいので、総合球技場の併設機能の範囲内で、車椅子テニスや車椅子バスケットができ、みんながそこに行けば色々なスポーツができる場所を併設してほしい。特に山梨県は県民人口が少なく、競技毎に障がい者スポーツの競技者を育成することは難しいので、健常者も含め色々なスポーツができる場所が山梨で必要だという状況もある。併設機能の範囲内でそういうこと踏まえてパラリンピックに競技者を出せるような環境の拠点になれば良いと思う。

#### 委員長

先日テレビでも障がい者のアジアパラ大会を放送していたが、走り高跳びでメダルを獲得した鈴木徹選手は義足のハイジャンパーで山梨県出身である。山梨県でも数は少ないが活躍している人もいる。目玉にして整備して良いと思う。

#### 委員

7頁の施設活用の検討事項にライブビューイングとあるが、山梨県には映画館が少ないと聞いている。一つの意見として、是非ビジョンを活用して子ども達や県民が映画等も鑑賞できる施設があれば良いと思っている。

#### 委員長

若者にアンケートをすると映画や音楽などの芸術分野に非常に関心が高いようである。山梨県には芸術関係の教育機関はないので若者のニーズにマッチしていると思う。一方、山梨県は1人あたりの図書館の数が全国と比較して多いとのこと。それが健康寿命の長さに繋がっていると報道があった。山梨県の誇る図書館という意味では、子ども広場に本や雑誌を備え図書室的な活用をするというのも、山梨県らしさを表す機能になるのではないか。トップアスリートの教育機関は、スポーツエリートを育てる小学校はすぐにはできないかもしれないが、トップアスリートの教育機関は諸室の活用例の一つにも入っているので人材育成を目玉の1つにしていきたい。スタジアムでの結婚式も少子化対策になるかもしれない。活用の仕方によって総合球技場の良さが県民に広がっていくと思う。まとめていただいた整理条件については、今日の意見も盛り込んだ上で基本的にはこういう形で進めていきたい。

## (2) モデルプラン(案)・配置計画(案)について

(資料2について事務局より説明)

#### 委員長

ありがとうございました。モデルプランと配置計画案1、2を提示いただいた。配置計画

案については事務局とすれば案 1 のほうが良いという意見である。

#### 委員

事務局で説明されたとおり、私も案 1 のほうが良いと思う。案 2 は南側がデッドスペースになっている。ここでイベントをしても、公園中央のにぎわいから離れた所のスペースとなりもったいない。駐車場はより近くに、より多く確保するのがベストだと思うので案 1 に賛成する。

#### 委員長

案 1、2 について委員で絞らせていただく。またモデルプランについてもご質問やご意見はあるか。

#### 委員

モデルプランのピンクで示された運営関係エリアはどのような利用を想定しているのか。

#### 事務局

こちらにつきましては 3 つに分けさせていただきまして、まず選手関係エリアには、選手の控室、アップルーム、シャワールーム等がある。メディア関係エリアには、記者会見室、放送機材室等がある。運営関係エリアには、運営本部、ドーピングルーム、ボランティアの控室等がある。本来だと完全に 3 つに分ける形ではないが、導線を考える中で配置し、分かりやすいよう 3 つで示させていただいた。運営全般に関して、医務室やドーピングルームを含め、Jリーグ・ヴァンフォーレ・ボランティアの方等が使用する部屋を総括して運営関係エリアと記載している。

#### 委員長

4 階にもあるので、そことの棲み分けもあるだろう。

#### 委員

2 階平面に階段があるが、3 階、4 階にはどのように行けば良いのか。

#### 事務局

まずメインスタンドについては、基本的に中に階段やエレベーターがあって上まで行けるようなイメージになる。サイドスタンド、バックスタンドについては、2 階のコンコースから 1 回スタンド側に出て、そこから上まで行くようなイメージになる。

委員長

階段は無いということか。

事務局

スタンド側の一部が途切れており、そこから上まで行くイメージである。

委員長

階段がないと避難はどうするのかという心配もある。

委員

昔の国立競技場をイメージするとVIPルームが一番上にあった。正面から入ってエレベーターで一番上に行く。その下に貴賓室があったと思う。その移動がとても分かりにくかった記憶がある。建築については素人であるが、利用した時のことを考えると階段やエレベーターでどのように移動するのか考えるのは非常に重要。

委員長

平面イメージでは、エレベーターや階段の位置は見える化した方が分かりやすい。

委員

技術的な事は素人だが、ただ考え方としてバリアフリーやユニバーサルデザインについては、最新のものを取り込んでいくという方向でよろしく願いたい。

委員

階段は4ヶ所あるが、スロープの設置は絶対必要だと思う。試合終了後に大勢の観客が移動することを考えると、階段だけだと危険である、欧米では特に障害者用というわけではなく一般客用に広いスロープがある。子どもも高齢者も安心して歩けるデザインが基本ベースである。特にジョギングコースを想定しているなら、なおさらスロープで降りられるような場所をどこかに必ず設置する必要があると感じている。

委員

今のご意見と重なるが、イタリアのサン・シーロには4ヶ所にスロープがあって、試合が終わると観客はスロープで降りてくる。階段では躓いたり渋滞したりするので、例えば階段を全てスロープにしてしまうというのはどうか。以前車椅子の方に聞いたら、東京駅でスロープを広くしたところ、全員がそこを通るようになったとのこと。そこはあまり落差はないが、落差があるところでも全部スロープにすれば、足が不自由な方、車椅子の方も使えると思った。

#### 事務局

階段やスロープについては、他のスタジアムの造り方や導線をまたお聞かせいただければと思っております。

#### 委員

アクセスに関してですが、駐車場のスペースを広くとっているが、「どのアクセス方法で観客を呼び込むのか」といったある程度の想定をしながら駐車場のスペースを検討し、自動車、電車、自転車といった様々なアクセス方法に対応することが必要である。ヨーロッパでは、自転車で来る地域住民の方が多ければ駐輪スペースを広くとる事例もある。また、自動車であまり来させたくない場合は、バスや電車を試合の日は無償化し、バスや電車の利用を促進している事例もよくある。

混雑をどう緩和するかも重要で、試合の開始や終了の時間帯はどうしても一斉に観客が移動するので、混雑してしまう。それをどう緩和させるかという時に、例えばヨーロッパではビジネスラウンジを活用し、試合終了前後 2 時間はビジネスラウンジで食事ができるので、メインスタンドの観客は早めに来てゆっくり帰ることで混雑の緩和につながる。また、イベント広場を上手く導線に組み込んで、例えば案 1 では、メインスタンドの観客は駐車場に行く時にイベント広場を必ず通るので一度足を止めてもらえれば、バックスタンドやサイドスタンドの観客の帰宅時間と少し時差をつくれる。そういった観点からも、イベント広場をどこに置くかを考える必要があり、どちらかというとな案 1 の方がイベント広場を通る方が多いので案 1 のほうが良い。

#### 委員長

このコンコースは一周 400m ぐらいか。

#### 事務局

取り方によって変わってくる。

#### 委員

両案に関わる事だが、鹿島アントラーズが運営されているようなトップアスリートにも対応するような医療的なクリニック等については、カシマスタジアムを視察した際に聞いた話では、スタジアムの中には医療法人として施設を組み込めない法的な制約があるとのこと。カシマスタジアムでは、スタジアム外にコンテナオフィスのような形でクリニックを開いている。収益エリアにクリニックを入れられないなら、スタジアム周辺にオフィスやレストランや商業施設的なものを置ける余地を残す考えも必要。



#### 委員長

クリニックは併設しないということか。

#### 事務局

完全に排除したわけではないが、アンケート結果では利用したいという意見はどちらかというと少なかった。また、カシマスタジアムの場合は周辺にクリニックがないという事情があり、本県とは若干状況が違う。今後、具体的な検討を進めていく中で民間からの提案を含めた案の1つとは考えているが、現段階ではそのような案は出ていない。

#### 委員

細かなディテールは別にしてモデルプランはとても良くできている。これまでの新しいスタジアムの成功点、反省点を色々考えられているという印象である。先ほどスロープの話が出たが、観客の足の話だけでなく緊急車両もスロープで上げられ、コンコースには、軽自動車ぐらいは通れるようにしておくスロープにした意味もより出てくるのではないかと。全体的にモデルプランは良いと思うが、利用が想定されるヴァンフォーレには是非相談をされたほうが良いと思う。特に気になるのは民間収益エリアで、いかにここを活用できるテナントがつくかが重要で、恐らくそれはネーミングライツの企業のニーズにも係ってくる。ヒアリングは十分に行った方が良いと思う。配置計画は案1で異論はないが、注意しなくてはならない点が2点ある。1つは、駐車場に停めた方がメインスタンドに行く動線をどうするのかという点。イベントエリアを通過してメインスタンドに誘導するイメージが最適と考えられる。もう1つは、アウェーのファンも受け入れるイベントエリアを想定する中で、イベントエリアから南側のサイドスタンドへの誘導をどうイメージするのかという点。これはバックスタンドと駐車場の間あたりにイメージしておいたほうが良いだろう。駐車場からアウェーのサイドエリアを通過してメインスタンドに行くのはあまりイメージをされないほうが良い。イベントエリアをみんなで気持ち良く通ったほうが良い。南側のサイドエリアはアウェー側の待機列なのであまり殺風景にならず樹木などもあったほうが良い。開門前の場外のトイレをイベント広場や南側のサイドエリアに公園施設として配置しておくのが良い。

#### 委員長

大変貴重なご意見ありがとうございます。第三駐車場の代替機能の検討はこの委員会で行うのか。

#### 事務局

第三駐車場については、現在普通車が800台程度止められるので、機能確保については検討しなくてはならない。既存の第一・第二・第四・第五駐車場や臨時駐車場との関係、

また、新たにここに道路ができるという事で渋滞等の交通解析も検討しているので、それらを含める中で、代替機能の駐車場をスタジアム横の駐車場とは別に 800 台分確保するのがあるいは合わせるのかということ。臨時バスや自転車利用者等、様々な来場者の導線も含め検討する中で、駐車場に関しては次回かその次になるかはわからないが全体としての案も示したい。

#### 委員長

ありがとうございました。モデルプランについてはヴァンフォーレの意見も聞いた方がいいというご意見についてはどうか。

#### 事務局

佐久間委員は本日急遽欠席されたが、佐久間委員を含めヴァンフォーレの方には一旦ご了解をいただいている。細かい部分が具体的にになっていくのにしたがって主な利用が想定される方のご意見を聞いて参りたい。

#### 委員

駐車場は 1 ヶ所だけだと渋滞になる。山梨県は車社会なので駐車場の確保は重要。案 1 はイベント広場が通り沿いなので球技場を利用しない場合でも参加できる。また、中銀スタジアムでラグビーの試合があった時には、メインスタンドとバックスタンドの観客はそれぞれ全く会えないので、総合球技場では全てのエリアが導線で繋がっていければ良いと思う。また、一番観戦環境が良いのがメインエリアだと思うが、バックエリアでしか見られない人でも、平等にメイン広場で共有できるような環境も検討していただけたら良い。

#### 委員

一ついいですか。先ほど、どなたか指摘されたトイレですが、どこにトイレをつくるかは重要。数も大事だと思う。武道館・フィットネスセンターは、トイレはないのか。

#### 事務局

建物の中にはございますが、外にはない。

#### 委員

フィットネスセンターにないのであれば、例えば散歩で通りかかった時に、新しくできたスタジアムのトイレは綺麗だから寄って行こうと言う方もいるかもしれない。そういう所も大事だと思う。

委員長

スタンド内のトイレは 2 階平面図に記載されているが、外のトイレは今回の図面には記載されていない。場外トイレを試合前に利用される人も結構いるのではないかな。

委員

施設の躯体とは別に外に設ける場合もありますし、躯体の中にあって、壁沿いに場外から入れるように設けている場合もある。いずれにしてもスタジアムの中に入る人以外の方が使えるトイレというのはご配慮いただければと思う。

委員長

2 枚目の検討案については殆どの方が案 1 に賛成ということで、案 1 で進めて行っていただけたら良い。ちなみに、図面に記載されている新山梨環状道路はもうできているのかな。

事務局

現在最終の詳細設計をしているところと聞いている。このスタジアムができる頃にはこの部分までは開通している想定である。

委員長

これがこれ以上敷地内に入り込むことはないのかな。

事務局

今現在の設計図面をいただいた上で調整しているので、ほぼこの形になると考えられる。

委員

基本的なところで、スタジアムの配置は芝の育成を考慮した角度になっているのかな。

事務局

色々な Jリーグの規定等を考慮した上で、基本的にこの角度で検討している。南側のサイドを少し離して光を入れやすくするといった 7 月の委員会でご講演いただいた池田さんの案などについては、芝生をどう育成していくのかという今後の議論の中で検討していただければと思っている。基本計画の中では一番基本の形でまとめていきたいと考えている。

委員長

また何かありましたら次の議題の後でもご指摘いただければと思います。モデルプランについては基本的には皆さん賛成だというご意見でした。また配置計画については、案 1 で今後進めていきたいと思います。

### (3) 小瀬スポーツ公園全体の有効活用方策について

(資料3について事務局より説明)

委員長

ご説明ありがとうございます。活用方策は今回が終わりではなく次回以降も引き続き審議していくということである。活用方策についてご意見をいただきたい。現在、中銀スタジアムを使って合宿はしているのか。

事務局

管理しております体育協会に確認したところ、県内の1~2日間の小規模な合宿は行っているが、県外の合宿利用は利用調整の難しさから例はないと把握している。

委員長

北上総合運動公園は長期の活用をしているのか。

事務局

ある一定程度の期間を使っているとのこと。利用調整の問題もあるので、まずはどういった形であれば来ていただけるかについてご意見賜ればと思っている。

委員

マルシェや音楽イベントで芝に大勢の人が入ってしまっても大丈夫なのか。試合をするには修復に何日程度必要なのか情報をお持ちであればご教授いただきたい。

委員

ピッチに敷かれている天然芝は大事な舞台としてグリーンキーパーが丹念にメンテナンスをしており、タイミングによっては、養生のために1週間から10日間は使用制限される時期もあります。一方で今夏にカシマスタジアムでピッチの芝生の中にテントを60張り入れて親子がそのテントで寝泊まりをして星空を楽しむ企画もありましたし、映画を夜に上映することも可能です。これらは、芝生の管理スケジュール次第である。芝生を掴んで走るようなトッププロが使用した場合の耐久時間は年間200時間、2時間の試合を3日に1回程度の開催が限度と言われている。ただし、子ども達が入ってイベントをする分にはそれほど芝生は傷まない。もちろんピッチ内での飲食の制限等はでてくるが様々な活用が可能である。

## 委員長

よろしいでしょうか。6頁の神戸ユニバ祭では天然芝を無料で開放している。この程度であればたぶん大丈夫だろうということかと思う。

## 委員

小瀬スポーツ公園全体の有効活用の方策はものすごく大事なポイントである。アイデアを含め少しお話しすると、FC今治の事例では、新しいスタジアムについてどうエリアを活用していくかを市民、有識者、自治体、私も入ってグループワークをした。新しいスタジアムの活用策は、これまでとは別の形で、そのような場をつくって学生や中銀スタジアムでボランティアをなさっている方々からアイデアを聞く機会を設けたら良いだろう。以前、県民の声を聴く会に同席したが積極的に意見がでていた。

競技団体の立場をはずれて申し上げると、ヨーロッパの都市と友好都市をお持ちになられて、その都市のイメージを小瀬全体のデザインと合わせたら良いのではないか。公園に必要な広場や噴水などトータルなデザインは千差万別だが、小瀬の特色を出そうとした時に友好都市のおしゃれなイメージを取り入れる。現在は、そのような都市と山梨県はパイプがないが、例えばフランスのボルドーやドイツのワインの名産地と手を結ばれて全体をデザインされるのも一案だと考える。愛媛県の松山市はドイツのフライブルク市と手を結ばれてイメージを踏襲しようという動きが感じられる。一過性のイベントではなく、毎年の継続性あるコンテンツを生み出していくことが大切。何よりも公園全体が清潔で夜も安全で明るくて、ベンチでご年配の方もお子様連れの方もくつろげる風景があることが原点であると思う。

## 委員

何か1つテーマをつくるという話については、外国と姉妹都市を締結するのは一案だと思う。平面図を見ると、この施設の核はどこなのだろうと感じた。管理は管理棟でしっかりされると思うが、これがあるから小瀬に行こうと県民に思ってもらえるアピールポイントが何になるのかというのが大事だと思う。先ほどのイベントの話もそうだが、一過性のものだと注目度は高まるがそれで終わりとなりがちなので、やはり継続するのが一番大事である。核となるところがよく分からないが、そういうことをしっかりシャッフルして、検討していただきたい。

それから防災機能についても記載されているが、私もマンションで防災担当をしているので気になった。従来の施設とどのように役割分担するのか、また防災といってもどこまで必要なのかというレベルもあるので、何でもやるのではなく広域的な視点から見直してきちんと整理していただきたい。そうすればより分かりやすいのではないかと感じた。

## 委員

今までのご意見に賛成です。小瀬スポーツ公園全体の有効活用に関しては、先ほどのスタジアムのスペックとは異なり、先進事例を真似すればいい訳ではない。山梨県として唯一無二のものをここに作るためにどのようにブランディングするかが大事である。

都市公園法が改正されてから、公園施設全体を民間の事業者を活用してもらったり、収益施設をつくったり、「パークマネジメント」という言葉もよく聞かれ出しており、公園をうまく地域のために活用している事例が増えてきている。その中で県としてどのようなものをここに作りたいたいのかという観点から、例えば地域の健康の象徴として位置づけるならこのスタジアムはランドマークになりうる。ランドマークとして外観も含めどのようにこのスタジアムを見せていくかということも大事だと思う。スタジアムの中だけでなく、様々な広場が公園施設の中にあるので、健康をキーワードに地域のオーガニックの果物や野菜といった山梨県としてアピールできるものをマルシェで売ることによって観光客を呼ぶことも期待でき、これが山梨の象徴になっていくことも考えられる。

合宿地というワードもあったが、例えばラグビーだったら長野県の菅平、サッカーだったら茨城県の波崎などで合宿地として地域を活性化させていく取り組みが行われている。その中では、県外からの選手を合宿で呼び寄せる時に宿泊施設をどうするのかという課題も同時に考えなければならない。ここにも合宿地として呼び込んでいくとなると対応可能なかどうか、小瀬スポーツ公園だけでなく、周辺エリアでもどれくらいのスポーツ施設や宿泊施設があるのかを含め検討しなくてはならない。冒頭の資料でも施設データの一元管理という話があったが、その他の施設も含めた空き状況がどのような状況なのか利用者に見せていって利便性をあげていくという活動も必要になる。

この場所をどのようにブランディングしていくかという話に戻ると、もしかしたら「小瀬スポーツ公園」というネーミング自体も変えていってその中でブランディングし、アピールしていくのもひとつの考え方としてはあると思う。

## 委員長

ネーミングは非常に大事な要素と色々な方から聞いている。活用方策にはテーマをつけるなり、山梨の売りの部分もメインにしたブランディングづくりが大事だろう。1頁の平面図を見て思うのは、オリンピックは芸術と結びついて開かれていた歴史を持っているが、ここにも山梨県が誇る彫刻や美術品等をあちこちにおくと芸術公園にもなる。スポーツと芸術文化は非常に重要な組み合わせになると思う。山梨県が大きく注目される拠点にしたい。

## 委員

公園全体の有効活用方策として県外の方の合宿の話がでていますが、全体有効活用は大きく分けて2つある。1つは、みんなの球技場として新しい球技場をつくると、既存の中銀

スタジアムや補助競技場との関連で、全体として有効な活用ができるという話で、これがみんなの球技場に通ずるということ。もう 1 つは、その観点の話を順次まとめていただく中で、今度は県外向けとしてさらに別機能として活用ができる点。両方同時にまとめて検討いただきたい。

#### 委員

事務局への質問も兼ねるが、1 頁の平面図に、武道館、フィットネスセンター、クライミング場があり、夜も込み合うぐらい一般利用されている施設だが、検討委員会で検討できるのは建設予定地だけなのか、あるいは隣接することになる武道館、フィットネスセンター、クライミング場との関係についてもできるのか。現在は表の正面入り口からしかアクセスできない仕様になっているが、スタジアム側からも施設に入れるのかといった点や、とても綺麗に整備されているのに誰も歩いて入っていきにはなっていない中庭に、例えばカフェエリアをつくったらどうかといった点も含めた活用について検討できるのか。

#### 事務局

今回小瀬スポーツ公園全体となっておりますので、基本計画への書き方はどうなるか分からないが、先ほどのご意見にもあったように、いつ行っても綺麗で明るくてというイメージもございますので、そういった色々なアイデアについてはまたいただきたい。総合球技場の整備と一緒にできるかどうかは、管理団体等と調整を図り、様々なご意見をいただく中で、少しでも小瀬全体がよくなるような形で議論をまとめていきたいと思っている。

#### 委員

それに加えて先ほどの話に関連するが、この周りに宿泊施設をつくるのは山梨県の場合現実的ではないだろう。車で 15 分程行ったところに石和温泉がある。また車で 20~30 分走ると甲府の湯村温泉もある。かつての勢いがいないところで、積極的にそういう観光部門や宿泊施設との良い連携ができるような体制づくりを、県主導でお願いしたい。

#### 委員長

温泉も山梨の誇れるものである。あとは県立大学でも体育スポーツ関係で先生と学生が一部この施設を使ったりするが、山梨学院大学は、利用はされているのか。

#### 委員

山梨学院大学は国体選手をかなり派遣しており強化には力をいれているので、基本的には練習環境は大学で独自で持っており個人的なトレーニング利用はあまりない。大会等で利用するに留まっている。

#### 委員長

おそらく山梨学院大学も施設等の維持管理が大変だと思うので公共施設を活用していただければと思う。山梨学院大学があらゆる面で山梨のスポーツを盛んにしているので、学生のスポーツ向上に役立ててれば良い。

#### 委員

ご意見ありがとうございます。将来的には例えばアスリートの学生が、小瀬スポーツ公園で様々な種目のスポーツフェスティバルを開催したり、トップジュニアアスリートに対してのクリニックをうちの指導者やトップアスリートがしたり、連携するような可能性も多岐にわたると思っている。

#### 委員

色々なお話しを伺いながら感じたのは、良し悪しは別として、「スポーツの公園」に限定する必要はあるのかということ。委員長から芸術公園の話がありましたが、スポーツに興味のない方も大勢いらっしゃる。そのような方も小瀬のパークに行けば豊かになれるようにしたい。今の配置図だけ見ると、「スポーツをやっていない方は入れません」という印象で、そのようなイメージがつきすぎるのもどうかと思う。もちろんトップアスリートが腕を磨くのは大歓迎ですが、スポーツに関心のない方々も視野に入れたいといけない。

#### 委員長

この小瀬スポーツ公園の名称は必要があれば変えることができるのか。

#### 事務局

条例で規定されているので、色々な意見や議会の承認をいただく中では理論上は可能と思われる。

#### 委員

色々ご意見がでましたが、私もスポーツが大好きですが、トップアスリートを目指す人は県外にでてしまうので、スポーツ施設の充実により良い環境を山梨に整えることで沢山のアスリートが山梨で育てば良いと思う。また、スポーツ的な充実も必要だが、どうすればここに沢山の人が集まるかを考えた時に、無料の送迎バスやここに来やすい交通環境が重要。また、各スポーツのトップリーグがある時にしか人が来ないことが多いので、球技場の中に商業施設をもっと充実させて、ショッピングも兼ねてここに来たり、広場で遊んだりというのが望ましいだろう。商業施設の充実、それ以外の芸術的などころも是非みなさんと考えていけたらと思う。



委員長

集客は重要だと思うので、設計の中で工夫していきたい。活用方策については次回も議論することになっているので、本日承ったご意見をまとめた上で次回の議論に繋げていきたい。今日の議題 3 つに関して概ね皆さまのご理解とご了承を得ましたので、ご意見を踏まえて次回に向け事務局でブラッシュアップされるかと思います。

#### (4) その他

事務局

本日は貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。次回につきましては本日のご意見を踏まえる中で、まずは施設の整備方法、整備主体や管理運用をどうしていくのかについてご意見をいただくと共に、活用方策についてもさらに詰めていきたいと考えておりますのでご協力よろしくをお願いいたします。

### 5 閉会

委員長

ありがとうございました。それでは本日の議題はすべて終了致します。

事務局

議事進行をありがとうございました。次回の開催については後日改めて調整させていただきますのでご協力よろしくをお願いいたします。以上をもちまして本日の委員会を終了させていただきます。長時間にわたりありがとうございました。

以上